

予算対策委員会

委員長 白道保育園 土山雅之

県下の公私立保育園・認定こども園六百十ヶ園で構成する私たち保育連合会は、子ども・子育て支援新制度が本格施行され、保育制度がこれまでに大きく変革した状況の中、地域で最も身近な子育て支援の拠点として、日々子どもを育ちを保障し、地域の子育て文化を育んでいくため、次の七項目を静岡県に希望对して要望しています。

- ① 食育の充実と推進をするため、非常勤調理員の加配を要望します。
- ② 乳幼児保育事業の充実及び四・五歳児の職員配置改善について要望します。
- ③ 保育標準時間に対応した職員配置の配置および処遇の改善について要望します。
- ④ 保育士確保及び定着促進のため、県内市町が保育士宿舎借り上げ支援事業を実施するよう県から市町へ働きかけを行い、県として保育士の就労・定着促進のための環境改善支援策の導入について要望します。
- ⑤ 年度途中入所サポート事業の継続について要望します。
- ⑥ 東海地震等大震災に対する安心・安全な施設として園舎のさらなる耐震化および施設整備、特に災害対策用の機器、備蓄食料等について充実が図られるよう要望します。
- ⑦ 産休等代替職員雇上事業の補助基準額の

増額について要望します。

加えて、保育三団体の予算対策活動に参画し、国に対して要望をしています。

海外交流委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

今年度の視察先はニュージーランドでした。平成三十年六月三日（日）～七日（木）三泊五日の日程で十九名参加でした。ニュージーランドの保育指針ティファリキに基づく保育現場視察を目的に、現地の三施設を訪問することが出来ました。定員四〇人ほどの家庭的な施設でした。子どもたちの学びのストーリーを一人ひとり丁寧に記録、それをもとに次の学びへとつなげることが大切にされていました。保育の無償化は、週二〇時間までと子どもが守られていることを感じました。各園共に、先住民のマオリ族の文化も大切に継承していました。中でもコハンガレオという園は、マオリ語のみの保育で見学の私たちも身振り手振りで交流を深めました。もちろん、ニュージーランドならではの土ボタルの生息するワイトモ洞窟や、ロトルアの間欠泉、の観光もフットワーク軽く楽しんできました。その国のお国柄を知ることでも学びです。

次年度も六月初旬フィンランド視察を計画中です。

少子化対策委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費（一事業五万円）を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば、民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としています。各支部三事業（十五万円）の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。啓発品についてご案内、ご協力いただいている、「あいあいホットマーク」のクリアファイルを作成しました。「保護者会の集まりなどの資料配布時に利用しているよ」という方も多いです。お申込みでない方も、施設長研修会などご協力いただけますのでよろしく願います。

研修委員会

委員長 ひくまこども園 山田佳敬

本年度の下期予定研修も民間園長研修会（全国私立保育園連盟関東ブロック保育研究大会と合同開催）、育児相談研修会が終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。詳しい内容については、各研修報告のページをご覧ください。

さて、「働き方改革」が来年度から本格的

～活動の報告と計画～

に始まる事に伴い、年次有給休暇の確実な取得等によるワークライフバランスの実現、正規と非正規の不合理な待遇差の禁止等の対応が求められることとなります。保育士の仕事に対するネガティブな情報発信が続いておりますが、これを機に少しでもイメージがアップするようにそれぞれが努めていかなければなりません。

浜松市の教育委員会では、平日の遅い時間の電話連絡を控えるようお願いしたり、夏休み中に休校日を設定したりする等、今年度から一早く「働き方改革」が始まっております。一園での取り組みでは難題です。団体としても「働き方改革」と向き合わなければならぬのかも知れません。

今年度内の研修会は次の通りです。

○施設長研修会（清水テルサ）

平成三十一年一月二十四日（木）

○新規採用予定職員研修会

平成三十一年二月中旬から下旬

（会場は各支部の研修会場にて）

保育士等キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

今年度から始まった「静岡県保育士等キャリアアップ研修」、「乳児保育」「幼児教育」「障害児保育」「保健衛生・安全対策」の四分野が終了し、二月～三月にかけて実施される「マネジメント」研修を残すのみとなりました。受講を終了された皆様へは、修了証を発行

する準備を事務局で行っています。修了証がお手元に届くまでしばらくお待ちください。来年度に向け、職位や職務内容に応じた専門性の向上を図るための研修機会の充実と提供を第一義に、事業実施計画については、委員会のアドバイザーに就任していただいた永倉みゆき先生の助言も頂戴しながら計画を進めているところです。

研修の運営については引き続き役員の皆様のお力をお借りして実施することになります。が、役員及び事務局の負担軽減も図れるよう検討していきたいと思っています。

今後とも会員の皆様のご理解とご協力よろしくお願いします。

青年部会

部会長 竜南こども園 太田嶋俊彦

今年度は、昨年度に行われた静岡大会で培われた青年部同士のつながりや一体感を今後どう維持し、発展させていくのが課題となりました。そのため、今年度からの新たな試みとして、大会の実行委員会を中心とした青年部運営委員会を組織しました。これは青年部活動の今後の方向性を少数の役員だけで決めていくのではなく、全員が当事者となり課題を提示したり活動に参画していく事ができる、全員参加型の組織を目指していくものです。まだまだ組織としては十分な形ができていない運営委員会ですが、支部や役職、所属する組織の立場等を超えて情報を共有し、一体

感とスピード感を持つて課題に向かっていけるような組織づくりをしていきたいと思います。

●実績報告

六月八日 青年部総会及びシンポジウム

「園を豊かにするマネジメント」

七月十一日～十三日 全国青年保育者会議

大分大会への参加

十一月二十四日 東部支部研修会（講義）

十二月十日他 西部支部研修会（公開保育）

●今後の予定

三月上旬予定 中部支部研修会

講師を招いての講義又は県外園への視察研修等を予定しています。

広報委員会

委員長 麻機保育園 鈴木克明

現在の広報委員会は、静岡県の東中西より委員を募り、各種の研修やたくさんの保育園等の取材を行い、それらを元に関係者の皆さんにも見ていただいております、このほいく静岡の夏号、冬号の発刊をしました。

今後に関しては県保連のホームページのリニューアル等も行い、県保連の活動状況に関係者の皆様にわかりやすくアピールできるようにしていけたらと考えています。

今後とも取材等で皆様にはお世話になると思いますが、ご協力を宜しくお願いします。